

令和4年度 水防演習

《演習テーマ》

洪水から守ろうみんなの地域

概 要 報 告

期 日:令和4年5月29日(日)

場 所:厚木市厚木地先

相模川右岸河川敷(三川合流地点河川敷)

主 催

神奈川県・厚木市・海老名市・綾瀬市・愛川町・清川村

『令和4年度 水防演習（厚木市 相模川）』概要報告

令和4年5月29日（日）、神奈川県、厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村の主催により、「令和4年度 水防演習」を開催しました。

演習は、水害から県民の生命や財産を守るため、消防団や防災機関等の水防活動に従事する者の技術の向上及び水防意識の高揚を図るとともに、県民の水防に対する理解を深め、広く協力を求めることを目的として開催したものです。

演習テーマ 「洪水から守ろうみんなの地域」

演習重点

- ★ 有効な水防技術の習得及び次世代への継承
- ★ 洪水時における関係機関の有機的な連携
- ★ 県民の水防や避難に対する理解と積極的な参加
- ★ 河川の増水に伴い取り残された孤立者の救助

演習参加機関20機関約700名、招待者、一般見学者を合わせると総勢約1200名の参加により演習が開始されました。

《 開会式 》



知事挨拶



厚木市長挨拶



演習総本部長訓示



来賓挨拶（県議会議長）



演習開始宣言



《 初期水防活動 》

今回の演習では、台風の接近による大雨により、相模川が増水したとの想定のもと、初期水防活動としてダム放流警報発令及び堰放流に伴う警報車による警報訓練を実施しました。

城山ダム警報車による警報



広域水道企業団警報車による警報



ダム放流警報



消防団出動



☆ 相模大橋付近で氾濫注意
水位を上回る予想

☆ 各市町村の消防団に
出動命令

災害復旧工作隊出動



資材搬入



☆ (一社)神奈川県建設業協会
県央支部に<応援要請>

《 水防工法 》

「準備工（土のう拵え、杭拵え、大型土のう拵え）」、「洗掘防止工（川表）（木流し、シート張り、T型マット張り）」、「洗掘防止工（川裏）（杭打ち積み土のう）」、「越水防止工（積み土のう、鋼板積み土のう、大型土のう積み）」を厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村の各消防団、(一社)神奈川県建設業協会県央支部、陸上自衛隊により実施しました。

<準備工（土のう拵え）>



<準備工（杭拵え、大型土のう拵え）>



<洗掘防止工法（川表）（木流し、シート張り、T型マット張り）>



<洗掘防止工法（川裏）（杭打ち積み土のう）>



<越水防止工法（積み土のう）>



<越水防止工法（鋼板積み土のう、大型土のう積み）>



《 広域情報収集 》

相模川の堤防被害が広域的に発生する恐れがあるものとし、神奈川県警察航空隊のヘリコプターによる流域の情報収集を想定しました。



《 避難支援 》

相模川が増水し氾濫危険水位を超過したとの想定で、神奈川県から厚木市へのホットラインによる河川状況の伝達や、厚木市による避難指示発令等の避難支援訓練を実施しました。

《 水防工法視察 》

各市町村の消防団（消防団）等が実施した水防工法について、総本部役員が視察確認を行いました。



《 救出救助訓練 》

厚木市消防本部、神奈川県警察、陸上自衛隊が連携し、河川が増水で中州に取り残された要救助者や、がけ崩れにより埋没した車両の要救助者を想定し、救出救助訓練を実施しました。

<ボートによる中州からの救助>

救命索発射銃によるロープ展張



ボート救助（消防）



ボート救助（消防・陸上自衛隊）



応急救護所（消防 I7-テント）設置



現場指揮本部



<ヘリコプター（県警 はまかぜ）による中州に取り残された要救助者 空中救助>



<埋没車両の救助、救助者搬送>

出動（県警）



重機（陸上自衛隊）による土砂撤去



車両解体（県警）



救出～搬送（県警・陸上自衛隊・消防）



《 広域情報収集（ドローン活用） 》

風雨が収まりつつある状況を想定し、県がドローンによる氾濫域の情報収集訓練を実施しました。



《 排水ポンプ車出動要請訓練 》

県が国土交通省京浜河川事務所の排水ポンプ車の排水ポンプ車を要請し、(一社)神奈川県建設業協会 県央支部の協力の下、排水ポンプ車による排水準備を行う訓練を実施しました。



《 ライフライン復旧訓練 》

台風による被害で避難所が停電し、電話も不通という想定で、東京電力パワーグリッド(株)、東日本電信電話(株)、及び、(株)NTTドコモによるライフライン応急復旧訓練を実施しました。

電話回線復旧後は、県知事と愛川町長との通話確認を行いました。

＜各企業の復旧活動（各隊出動、作業依頼）＞



＜各企業の復旧活動（各隊復旧作業状況）＞



＜通話確認＞



《 展示コーナー 》

国土交通省、陸上自衛隊、神奈川県警察、厚木市消防本部、海老名市、東京電力パワーグリッド(株)、東日本電信電話(株)、(株)NTTドコモ、神奈川県内広域水道企業団、神奈川県が、防災等に関連する車輛や資機材、備品等を展示し、一般見学者を中心に賑わいました。

国土交通省
(災害関連パネル展示)



陸上自衛隊
(自走架柱橋 車輛展示)



神奈川県警察
(高性能救助車等展示)



厚木市消防本部
(水難救助車、水難救助資機材等展示)



海老名市
(避難所展示)



東京電力パワーグリッド(株)
(感震ブレーカーシミュレーション等展示)



神奈川県内広域水道企業団
(パネル展示他)



(株)NTTドコモ
(災害用伝言版等 紹介)



東日本電信電話(株)
(災害対策車輛等展示)



神奈川県
(パネル展示)



《 水防活動終了報告～閉会式 》

閉会式に先立ち、陸上自衛隊及び消防団による活動終了報告を行い、引き続き、閉会式を取り行いました。

演習活動報告～閉会式



活動終了報告（陸上自衛隊）



活動終了報告（消防団）



演習終了報告



講評（海老名市長）



○今回の演習は、令和元年東日本台風による災害復旧への対応やコロナ禍の影響により、前回開催から4年ぶりとなり、新型コロナウイルスの猛威が収束していないこともあって、感染症拡大防止の十分な対策を講じるとともに、多くの県民の方々に見ていただけるようライブ配信（なお、視聴回数は約500回）を行うなど、様々な工夫を凝らしながら実施しました。

○また、今回の開催会場である相模川では、令和元年東日本台風の際、城山ダムの緊急放流を経験したこともあり、大変意義あるものとなりました。

○演習の実施にあたっては、消防団及び関係機関の皆様へ、日頃の訓練の成果を十分に発揮していただきました。今後とも、技術の研鑽や訓練を積み重ね、いざという時に力を発揮していただきたいと思います。

○最後に、御尽力いただいた関係機関の皆様へ厚くお礼申し上げます。

『令和4年度 水防演習』に参加いただいた関係機関

国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所、相模川水系広域ダム管理事務所、横浜地方气象台、陸上自衛隊第4施設群、神奈川県警察本部、厚木警察署、厚木市消防団、海老名市消防団、綾瀬市消防団、愛川町消防団、清川村消防団、神奈川県内広域水道企業団、東京電力パワーグリッド(株)平塚支社、東日本電信電話(株)神奈川事業部、(株)NTTドコモ神奈川支店、(一社)神奈川県建設業協会県央支部